

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成24年4月17日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発 表 事 項

1. 平成24年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞を受賞
2. 山形大学特別招聘教授の委嘱
3. 山形大学特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯(ともしび)に」をスタート
4. 大学コンソーシアムやまがた「合同企業説明会」の実施
5. 山形大学有機エレクトロニクス研究センター 第1回国際シンポジウムの開催

お 知 ら せ

1. 山形大学公開講座・学園都市推進協議会まちなかカレッジ「地域と大学の共生」の開催
2. 理学部がハワイ大学マノア校と学部間交流協定を締結
3. まもなく日食！直前講習会の開催

(参 考)

次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成24年5月8日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成24年4月17日
山形大学

**平成24年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び
若手科学者賞を受賞**

文部科学省では、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者の功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的として、科学技術分野の文部科学大臣表彰を行っています。この度、下記2名の本学教員が受賞しました。

科学技術賞(理解増進部門):大学院理工学研究科 教授 大場 好弘

(業績名:大学連携による工学の魅力と未来の社会を創る役割の理解増進)

本賞は、広く国民の科学技術に関する関心及び理解の増進等に寄与、又は地域において科学技術に関する知識の普及啓発等に寄与する活動を行った者を対象としている。

大場教授は工学部長在任中、国立大学53工学系学部長会議の「未来を創る工学WG」において、大学連携により社会の中で大きな流れを作り出すために、工学の魅力と未来の社会を創る役割の重要性を、社会一般に、産業界、経済界、小・中・高校等に向けて、主要新聞などで継続的にアピールし、中高生向けのWebサイト「工学系学部へ行こう!」を開設する等、多方面の情報発信の推進に努めた。今回は、山形大学、千葉大学、山口大学、熊本大学の前工学部長4名が連名で受賞。今回の本賞の受賞者は16件。

若手科学者賞:大学院理工学研究科 准教授 落合 文吾

(業績名:豊富な資源を利用する機能性材料の創製に関する研究)

本賞は、萌芽的な研究、独創的視野に立った研究等、高度な研究開発能力を示す顕著な研究業績を上げた40歳未満の若手研究者を対象としている。

落合准教授は、二酸化炭素をはじめとする自給できる豊富な資源を有効に活用し、熱硬化樹脂の性能向上に貢献する樹脂やレアメタルの回収材料など高性能な材料を効率的に生み出す研究を行っている。今回の本賞受賞者は90名。

表彰式:平成24年4月17日(火)12時10分から、文部科学省3階 講堂にて

(お問い合わせ)

工学部総務課 企画総務担当

電話:0238(26)3005

平成24年4月17日
山形大学

山形大学特別招聘教授を委嘱しました。

山形大学では、本学の教育研究を推進するため、高度な学識経験を有する2名を特別招聘教授として平成24年4月1日付けで委嘱しました。

今後、教育研究活動を推進するため、必要な指導、助言等を行っていただきます。

(ふりがな) 氏名	現職	委嘱年月日	委嘱期間
いしざか きみしげ 石坂公成	ラホイヤ・アレルギー免疫研究所名誉所長 株式会社 地域・大学発研究所 COMEセンター 代表取締役社長	平成24年4月1日	平成24年4月1日～ 平成26年3月31日
どい まさお 土井正男	公益財団法人 豊田理化学研究所 フェロー	平成24年4月1日	平成24年4月1日～ 平成26年3月31日

(お問い合わせ)
山形大学総務部総務課
(TEL)023-628-4006

山形大学特別招聘教授に関する規程

(平成23年12月14日)

(趣旨)

第1条 この規程は、山形大学特別招聘教授(以下「特別招聘教授」という。)について必要な事項を定めるものとする。

(特別招聘教授の要件)

第2条 特別招聘教授は、高度な学識経験を有する者で、学長が山形大学(以下「本学」という。)の教育研究を推進するため、特に招聘する必要があると認める者をいう。

(任務)

第3条 特別招聘教授は、本学の教育研究活動を推進するため、必要な指導、助言等を行う。

2 特別招聘教授は、本学における教育のために必要な場合は、関係する学部、研究科又は基盤教育院の要請に応じて授業を行うことができる。

(選考)

第4条 特別招聘教授の選考は、役員会において行う。

2 学長は、特別招聘教授にふさわしいと認められる者がある場合は、当該者の略歴及び功績に関する調書を付して役員会に付議するものとする。

(推薦)

第5条 学部長、研究科長及び基盤教育院長は、当該学部、研究科又は基盤教育院における教育研究の推進のために特に必要と認める場合は、特別招聘教授候補者推薦書(別記様式1)により、特別招聘教授の候補者を学長に推薦することができる。

(委嘱)

第6条 特別招聘教授の委嘱は、学長が行う。

2 特別招聘教授の委嘱の期間は2年とし、再任を妨げない。ただし、特に必要があると学長が認める場合は、2年を超えることができる。

3 特別招聘教授に委嘱する場合は、特別招聘教授委嘱状(別記様式2)を交付する。

4 特別招聘教授には、必要に応じて、指導、助言等を行う特定の研究内容を表す名称を冠することができる。

(事務)

第7条 特別招聘教授の委嘱に関する事務は、総務部において処理する。

(その他)

第8条 この規程に定めるもののほか、特別招聘教授に関し必要な事項は、役員会の議を経て、学長が別に定める。

附 則

この規程は、平成23年12月14日から施行する。

別記様式1(第5条関係)

特別招聘教授候補者推薦書

[別紙参照]

別記様式2(第6条関係)

特別招聘教授委嘱状

[別紙参照]

山形大学特別招聘教授の委嘱について

ふりがな 氏名	いしざか きみしげ 石坂 公成 1925年生
委嘱期間	平成24年4月1日～平成26年3月31日
所属・職名	ラホイヤ・アレルギー免疫研究所名誉所長 株式会社 地域・大学発研究所 COME センター代表取締役社長
学歴及び職歴	東京大学医学部卒業。 国立予防衛生研究所免疫血清室長、 小児喘息研究所（デンバー）免疫部長、コロラド大学医学部准教授、 ジョンズ・ホプキンス大学医学部教授（京都大学医学部教授兼任）、 ラホイヤ・アレルギー免疫研究所所長、 カリフォルニア大学内科学教授、等歴任。
業績 （著書，論文， 受賞等）	1973年 武田医学賞（免疫グロブリンEの発見とレアギン型アレルギーの機序に関する研究により） 1973年 朝日賞（免疫グロブリンEの発見により） 1974年 恩賜賞・日本学士院賞（免疫グロブリンEの発見とレアギン型アレルギーの機序に関する研究により）、文化勲章、文化功労者 1997年 日本学士院会員 1999年 勲一等瑞宝章 2000年 日本国際賞（免疫グロブリンEの発見とアレルギー発症機序の解明により）
委嘱理由	免疫学の泰斗、世界的権威であり、わが国医学界の重鎮として活躍中です。成果は臨床医学の発展に大きく貢献し、輝かしい業績、経歴、受賞歴等は我が国の誇りと言えます。またこれまで長年にわたり山形大学医学部客員教授として「特別講義」を賜り、本学医学部研究の戦略について最高のお立場から懇切丁寧なご指導・ご助言をいただいております。

山形大学特別招聘教授の委嘱について

ふりがな 氏名	どい まさお 土井 正男 1948年生
委嘱期間	平成24年4月1日～平成26年3月31日
所属・職名	公益財団法人 豊田理化学研究所 ・フェロー
学歴及び職歴	1970年3月 東京大学 工学部物理工学科卒業 1974年3月 東京大学 工学系研究科 物理工学専攻博士課程中退 1974年4月 東京都立大学 理学部物理学科 助手 1976年3月 東京大学工学博士号取得 1978年10月 東京都立大学 理学部物理学科 助教授 1989年8月 名古屋大学 工学部応用物理学科 教授 2004年4月 東京大学 大学院工学系研究科 教授 2012年4月 公益財団法人 豊田理化学研究所 ・フェロー(現在に至る)
業績 (著書,論文,受賞等)	研究論文 211編 著書 15編 受賞歴 1982年5月 高分子学会賞(高分子学会) 1983年5月 レオロジー学会有効賞(日本レオロジー学会) 1988年11月 日本IBM科学賞(日本IBM株式会社) 2001年3月 米国物理学会高分子物理学賞(Ford賞)(米国物理学会) 2001年10月 Bingham Medal(米国レオロジー学会) 2003年5月 日本レオロジー学会賞(日本レオロジー学会) 2010年4月 紫綬褒章受章 研究歴 1972年～2010年 高分子・液晶を中心とするソフトマテリアルのレオロジーの理論・シミュレーションによる研究 1998年～2002年 大学連携型産業技術開発制度「高機能材料設計プラットフォームの開発」プロジェクトリーダー。 多階層シミュレーションシステムOCTAを構築。 2004年～2010年 界面レオロジーの実験・理論・シミュレーションによる研究 所属学会 日本物理学会、高分子学会、日本レオロジー学会、米国物理学会、 米国レオロジー学会、イギリス物理学会名誉会員
委嘱理由	土井正男先生は、米国物理学会高分子物理学賞はじめ国内外の著名な賞を受賞され、物理学者として紫綬褒章も受賞されており、高分子物理からソフトマタ 物理に関する学問分野をリード・開拓された世界の第一人者です。 山形大学では、地域に根ざし世界をリードする大学として国際的に通用する高い水準にある研究拠点を重点的に支援するYU COE(山形大学先進的研究拠点)を実施しておりますが、その中の一つに大型の競争的資金を獲得するなど外部からも既に拠点として認められている「有機エレクトロニクス」がございます。 有機ELではガラス基板の上に薄膜を作り蒸着させるという方法が主として取り入れられておりますが、現在、印刷技術を使った技術も研究されております。 この度、土井正男先生から、これまでの豊富な教育研究実績に基づき、特に高分子物理・ソフトマタ 物理の分野の基礎研究について指導、助言をいただき、この印刷のプロセスの基礎的な解明を行うことで、有機EL基礎科学を強固なものとし世界的な基礎研究拠点としての更に地位を高めるため、土井正男先生を特別招聘教授として委嘱させていただくものです。

平成24年4月17日
山形大学

山形大学特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯（ともしび）に」をスタートします

山形大学では特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯（ともしび）に」群読劇出演者を募集します。

山形大学では平成19年度から特別プロジェクト「藤沢周平の山形」を、23年度は「井上ひさしの東北」を展開、高校生朗読コンクールや「ポローニャの会」など、山形県出身の作家に学ぶ企画を実施してまいりました。

昨年の東日本大震災を受け、山形県内の高校生に限定していた朗読コンクールの応募資格を東北六県に広げるなど、東北地方全体を俯瞰する取り組みを開始しています。

そして今年、プロジェクト名を「いま、言葉を東北の灯に」と定め、東北に根ざし東北を描いた作家・作品を広く取りあげ、そこに記された言葉を復興に立ち向かうための勇気と希望の灯としたいと考えています。

○平成24年度の主な取り組み

1. ポローニャの会

井上ひさしさん（山形県出身）の『ポローニャ紀行』をヒントに、山形と東北の明日を考える市民の会。

月1回開催（前年度から継続）。現在提言中間まとめを作成中。

2. 第5回山形大学高校生朗読コンクール／群読劇上演

基盤教育「舞台をつくる」の受講生など山形大学学生が企画運営にかかわります。

とき：平成24年9月16日（日）

ところ：シベールアリーナ

第一部 山形大学高校生朗読コンクール

参加資格：東北六県の高校に在籍する高校生

録音による予選審査を経て、10名程度が本選に出場予定。

朗読課題文：太宰治（青森県出身）「津軽」から選定中。

第二部 群読劇上演

演出：佐藤正文氏（演出家、酒田市出身）

出演：紺野美沙子氏（俳優、朗読座所属、国連開発計画（UNDP）親善大使もつとめる）

一般市民（公募）・山形大学生・山形の子どもたち各20名程度

題材：宮沢賢治（岩手県出身）「風の又三郎」を群読劇に脚色中。

（お問い合わせ）

山形大学渉外部渉外課

（TEL）023-628-4016

群読劇出演者を募集します

山形大学では復興に向けた東北の力を舞台芸術で結集する試みとして、2012年9月16日(日)、シベールアリーナ(山形市蔵王松ヶ丘2丁目1-3)を会場に、東北の大地に根ざした宮沢賢治の名作『風の又三郎』をモチーフにした群読劇(集団での朗読を主体にした舞台)の上演を計画しています。

主演には女優の紺野美沙子氏をお招きし、一般市民の皆様、山形大学学生、子どもたちとともに東北を応援する舞台を作っていきます。この群読劇にご出演くださる一般市民の方を募集します。

参加資格:本番と原則として稽古の全日程(下記参照)に参加可能な方
年齢や性別、演劇や朗読の経験の有無等はいっさい問いません。
震災の影響で山形に一時的に避難されている方々のご参加も歓迎します。

募集人数:20名程度(先着順に受け付けます)

費用負担等:稽古・上演に係る経費等の負担を出演者にはありません。
出演料等はお支払いいたしません。
稽古場・劇場への交通費等はご自身でご負担ください。

募集開始:2012年4月16日(月) 平日09:00~17:00
(先着順に受け付け、定員に達し次第締め切ります)

お申し込み:山形大学 渉外部 渉外課

電話 023-628-4016 FAX 023-628-4849

電子メール k-tojyoki@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

※FAX・電子メールでお申し込みの場合には以下の事項を明記してください。

お名前/性別/年齢/ご住所/お電話番号(以上は必須)

(以下はあれば)FAX番号/携帯電話番号/電子メールアドレス

※複数の方で一括お申し込みの場合は、全員の上記情報をお知らせください。

催し物概要・稽古等日程:

主催:国立大学法人山形大学

共催:弦地域文化支援財団

演出:佐藤正文氏(演出家、酒田市出身)

出演:紺野美沙子氏(朗読座)、一般市民、山形大学生、山形の子どもたち 等

日程:

- ・稽古 2012年5月16日(水) 夜 会場未定(山形市内)
- 6月20日(水) 夜 会場未定(山形市内)
- 7月18日(水) 夜 会場未定(山形市内)
- 7月31日(火) 午後・夜(有職者等の方は夜のみの参加も可) 会場未定(山形市内)
- 8月1日(水) 午後・夜(夜のみの参加も可) 会場未定(山形市内)
- 8月2日(木) 午後・夜(夜のみの参加も可) 会場未定(山形市内)
- 9月10日(月) 午後・夜(夜のみの参加も可) 会場:シベールアリーナ
- 9月11日(火) 午後・夜(夜のみの参加も可) 会場:シベールアリーナ
- 9月15日(土) 午後 総稽古 会場:シベールアリーナ
- ・本番 9月16日(日) 午後 会場:シベールアリーナ

※第5回山形大学高校生朗読コンクールと併せて開催予定

平成24年4月17日
山形大学

大学コンソーシアムやまがた「合同企業説明会」を開催します

東日本大震災による東北の経済活動の停滞や、平成25年3月卒業予定学生就職活動の遅れなどにより、山形県内大学等の学生の就職活動を取り巻く環境はいつになく非常に厳しい状況にあります。

また、学生の就職活動への意気込みが停滞しやすくなることを払拭するためにも、大学コンソーシアムやまがたに加盟する大学、短期大学等の平成25年3月卒業・修了予定学生及び卒業後1年以内(平成24年3月卒業)の既卒者の、県内及び東北地方の企業への就職活動を支援することを目的として、各大学等の求人情報を共有した大学コンソーシアムやまがた主催の合同企業説明会を開催します。

日時：平成24年5月21日(月) 12:00～16:00
11:30 受付開始

場所：山形テルサ【アプローチ3F・リハーサル室2F】

参加企業：県内企業を中心に宮城県等東北地方の企業、約40社を予定

対象学生 コンソーシアム加盟の全機関の平成25年3月卒業予定学生
卒業後1年以内(平成24年3月以降)の卒業学生についても対象とする。

(お問い合わせ)
大学コンソーシアムやまがた事務局
(TEL) 023-628-4842

参加企業募集



人材発掘のチャンスです!
企業PRのチャンスです!

ぜひ、ご参加おまちしております!

合同企業 説明会

2012年
5月21日月
山形テルサ



大学コンソーシアムやまがた加盟機関の平成25年3月卒業・修了
予定学生及び卒業後1年以内（平成24年3月以降）の卒業生対象。

■ 受付 12:00～ (3F アプローチ)

■ 合同企業説明会 13:00～16:00 (3F アプローチ)

募集企業：山形県及び東北地方の企業

主催：大学コンソーシアムやまがた

後援：山形労働局・山形県

参加費：参加費として3,000円いただきます。（当日会場にて）

申込方法：大学コンソーシアムやまがたのホームページより「5月合同企業説明会参加申込書」をダウンロードし、4月9日（月）から5月7日（月）までの間にメールにて、お申し込みいただきますようお願いいたします。ゆうキャンパスURL (<http://unicon.kj.yamagata-u.ac.jp/>)

お問合せ



大学コンソーシアムやまがた事務局 (担当:鈴木)

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

輝く未来へ！



合同企業

説明会

大学コンソーシアムやまがた加盟機関の平成25年3月卒業・修了予定学生及び卒業後1年以内（平成24年3月以降）の卒業生対象。

開催日： **2012年5月21日** 月

会場： **山形テルサ**

日程： ■ 受付 11:30～ (3F アプローチ)
■ 就職ガイダンス 12:00～12:45 (2F リハーサル室)
■ 合同企業説明会 13:00～16:00 (3F アプローチ)

参加企業： **山形県及び東北地方の企業**

主催： **大学コンソーシアムやまがた**

後援： **山形労働局・山形県**

申込方法： 「合同企業説明会参加申込書」により、5月16日(水)までに所属機関の就職支援担当課にお申し込み願います。
参加企業については随時大学コンソーシアムやまがたのホームページ (<http://unicon.kj.yamagata-u.ac.jp/>)でお知らせします。
企業の求人票は当日配付いたします。
また、合同企業説明会についてのお問い合わせは所属機関の就職支援担当課窓口へお願いします。
なお、既卒者の方は直接会場へお越し下さい。



お問合せ



大学コンソーシアムやまがた事務局 (担当: 鈴木)

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル 1階

TEL: 023-628-4842 FAX: 023-628-4820 E-mail: unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成24年4月17日
山形大学

山形大学有機エレクトロニクス研究センター
第一回国際シンポジウムを開催します

ノーベル賞受賞者のA.J.ヒーガー博士他、世界の有機エレクトロニクスをリードする、ノーベル賞級の研究者が集結する、国際シンポジウムを開催します！

日時：平成24年5月11日（金）11：00 - 17：50

会場：東京・竹橋「学術総合センター」

参加費：一般3,000円 / 学生1,000円

内容：ノーベル賞受賞者のA.J.ヒーガー博士他、世界の有機エレクトロニクス研究をリードする研究者の方々に、最先端の研究状況を発表していただくとともに、山形大学における有機エレクトロニクス研究の取り組みを紹介いたします。

企業・大学・研究所から最新の進展に関するポスターセッション・試作品・製品展示もあわせておこないます。活発な情報交換・交流・議論により、さらなる有機エレクトロニクス分野の基礎・応用・産業化を進めます。

<基調講演>

A.J.ヒーガー博士 カリフォルニア大学サンタバーバラ校
(2000年ノーベル化学賞受賞)

<特別講演>

C.W.タン博士 (ロチェスター大学教授/山形大学連携卓越研究教授)

Y.ヤン博士 (カリフォルニア大学ロサンゼルス校教授連携卓越研究教授)

K.レオ博士 (ドレスデン工科大学教授)

(お問い合わせ)

工学部研究プロジェクト支援室

電話：0238(26)3590

第1回 国際シンポジウム

世界をリードする有機エレクトロニクス研究者の方々に最先端の研究状況を発表していただくと共に、山形大学における有機エレクトロニクス研究の取り組みを紹介致します。
企業・大学・研究所から最新の進展に関するポスターセッション・試作品・製品展示もあわせて行います。活発な情報交換・交流・議論により、さらなる有機エレクトロニクス分野の基礎・応用・産業化を進めます。多くの皆様の参加をお待ちしております。

日時 平成24年**5月11日(金)** 11:00~17:50

会場 東京・竹橋「**学術総合センター**」
〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

参加費 一般**3,000円** / 学生**1,000円**

シンポジウムプログラム

10:30~ 受付開始

11:00~13:00 ポスター展示 (軽食あり)

13:00~13:05 開会挨拶
山形大学長 **結城 章夫**

13:05~13:15 来賓祝辞
独立行政法人 科学技術振興機構 理事長 **中村 道治氏**

13:15~13:30 **有機エレクトロニクス山形 最近の進展**
山形大学 有機エレクトロニクス研究センター長 **大場 好弘**

13:30~14:15 基調講演
"Future Technologies Enabled by New Materials and Creative New Ideas"
カリフォルニア大学サンタバーバラ校 教授
A.J.ヒーガー氏(ノーベル化学賞受賞者)

14:15~14:45 特別講演
"Progress in Organic Heterojunction Devices"
ロチェスター大学 教授 / 山形大学 連携卓越研究教授 **C.W.タン氏**

14:45~15:15 休憩・ポスター展示

15:15~15:45 特別講演
"Achieving High Performance Organic Tandem Solar Cells"
カリフォルニア大学ロサンゼルス校 教授 / 山形大学 連携卓越研究教授
Y.ヤン氏

15:45~16:15 招待講演
"Recent Progress in Small-Molecule Organic Solar Cells"
ドレスデン工科大学 教授 **K.レオ氏**

16:15~17:45 研究講演
"N-type Organic Semiconductors for Optoelectronics"
山形大学 特別連携卓越研究教授 **N.S.サリチフチ氏**
"Organic Thin-Film Transistors for Flexible and Printed Electronics"
山形大学 卓越研究教授 **時任 静士氏**
"Organic LED for general lighting"
山形大学 卓越研究教授 **城戸 淳二氏**

17:45~17:50 閉会挨拶
山形大学 副学長・理事 **小山 清人**

会場までのアクセス

〈東京駅からの主なアクセス〉-----

- 「神保町駅」A8出口から徒歩3分
東京-(丸ノ内線・池袋方面)-大手町-
(半蔵門線・中央林間方面)-神保町(10分)
- 「竹橋駅」1b出口から徒歩4分
東京-(丸ノ内地下中央口より地下道で直結)-
大手町-(東西線・中野方面)-竹橋(10分)
- 「車」5分

↓こちらからお申込みください

<https://asp.science-server.com/iso2012/form.php>

お問い合わせ先: 山形大学工学部 研究プロジェクト支援室

TEL / **0238-26-3590** FAX / **0238-26-3240** E-mail / **koujshien@jm.kj.yamagata-u.ac.jp**

主催 / 国立大学法人山形大学 後援 (予定) / 独立行政法人科学技術振興機構・財団法人山形県産業技術振興機構・米沢市

※この印刷物は、印刷用の紙ヘリサイクルできます。

プレス通知資料（概要）

平成24年4月17日
山形大学

山形大学公開講座・学園都市推進協議会まちなかカレッジ「地域と大学の共生」

(概要) 学園都市推進協議会で毎年開催している「米沢まちなかカレッジ」で、今年は山形大学工学部のフレックスコース1年生のため開講する講義を、市民の方にも開放し、学生とともに学ぶ特別編として開講することになりました。

日時:平成24年5月9日(水)から7月25日(水)までの毎週水曜日 全12回
各回 18:00～19:30

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]

理学部がハワイ大学マノア校と学部間交流協定を締結

(概要) 理学部は、去る3月12日にハワイ大学マノア校海洋・地球科学・テクノロジー学部と学术交流協定を締結しました。同校は、オアフ島の自然豊かなマノア地区にあり、約18,000人が学ぶハワイ州最大の大学です。

坂本学部長はじめ5人の教職員と地球環境学科4年生1人が同校を訪問し、海洋・地球科学・テクノロジー学部のブライアン・テイラー学部長と坂本学部長がそれぞれ協定書にサインしました。学術研究の促進と学生の勉学機会の拡大を目指し、活発な交流を進めていくことが確認されました。

(現在、山形大学の大学間交流協定校は21カ国・地域、46機関、学部間では20カ国・地域、66機関)

問い合わせ:山形大学小白川キャンパス事務部理学部事務室

(TEL)023-628-4505

日食直前講習会～安全でたのしい日食観察のために～

(概要) 平成24年5月21日、日本では25年ぶりとなる金環日食が発生し、山形でも部分日食として観察することができます。間違った観察方法で日食網膜症など目を痛めることのないよう、小さな天文学者の会で日頃からボランティア活動を行う「星空案内人(星のソムリエ)」による、日食についての講習会を開催します。

日時:平成24年4月21日(土)14:00～16:00(1回目)

平成24年5月12日(土)14:00～16:00(2回目) (1回目、2回目とも同じ内容)

場所:山形大学理学部

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]



米沢と山大工学部

- 地域と大学の共生 - 受講者募集！

学園都市推進協議会では「米沢まちなかカレッジ」を毎年開講しています。

今年は山形大学工学部のフレックスコース 1 年生のため開講する標題の講義を市民の方にも開放していただき、学生とともに学ぶ特別編として開講します。

米沢になぜ工学部があり、地域とどのように結びついて発展してきたのかを学びます。米沢と山大工学部の「絆」を確かめ地域と大学の将来を学生と一緒に考えてみませんか？

日 時：平成 24 年 5 月 9 日（水）から 7 月 25 日（水）まで
毎週水曜日、計 12 回 各回 18:00 ~ 19:30

会 場：山形大学工学部 4 号館中示範 A 教室

定 員：80 名（どなたでもご受講いただけます。）

受講料：無料 9 回以上ご出席の方には修了証書を差し上げます。

講 師：山本陽史（山形大学基盤教育院教授）
門馬甲兒（山形大学 E M 部教授・工学部アドミッションサービス担当）

各回テーマ（講師の都合により前後することがあります）

- | | | |
|---------|---|----------|
| 5 月 9 日 | 開講式 / なぜ国立大学には工学部が多いのか | 【 山本教授 】 |
| 16 日 | 東北・山形県・置賜地域・米沢市の現在 | 【 門馬教授 】 |
| 23 日 | 米沢を作った人々（1） - 直江兼続 | 【 山本教授 】 |
| 30 日 | 米沢を作った人々（2） - 上杉鷹山 | 【 山本教授 】 |
| 6 月 6 日 | 黎明の近代 - イザベラ・バードと県令三島通庸 | 【 山本教授 】 |
| 13 日 | 米沢高等工業学校誕生 | 【 山本教授 】 |
| 20 日 | 工学部の現在と将来 | 【 門馬教授 】 |
| 27 日 | 米沢を作った人びと（3） - 秦逸三 | 【 山本教授 】 |
| 7 月 4 日 | 山形大学誕生と山大工学部 | 【 山本教授 】 |
| 11 日 | 東日本大震災と大学 | 【 山本教授 】 |
| 18 日 | 米沢の産業と大学の経済効果 | 【 門馬教授 】 |
| 25 日 | 工学部生に望むこと・工学部生が望むこと
（学生と受講生との懇談） / 閉講式 | |

問合せ・申込み：米沢市役所総合政策課地域振興担当 電話 0238-22-5111（内線 2803）
申込みの際は電話にて、上記問合せ先までお願いします。
後日、案内文書を郵送します。

主催：山形大学工学部 共催：学園都市推進協議会 後援：米沢市

教育機関関係者様各位
報道機関関係者様各位

2012年3月27日
特定非営利活動法人 小さな天文学者の会
理事長 柴田 晋平

日食直前講習会のご案内について

～安全でたのしい日食観察のために～

貴下に置かれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より特定非営利活動法人小さな天文学者の会（以下当会）の活動にご協力及びご支援を賜り、誠にありがとうございます。

来る2012年5月21日、日本では25年ぶりとなる金環日食が発生いたします。山形でも部分日食として観察することができ、多くの方が太陽を観察することになると予想されます。

しかし昨今指摘されておりますとおり、太陽の観察は大変危険を伴い、間違った観察方法により日食網膜症など目を痛める事例が、日食が発生する度に報告されております。

そこで当会で日頃からボランティア活動を行う「星空案内人（星のソムリエ）」による日食についての講習会を下記の通り開催いたします。日食の基本から安全な日食の観察方法まで幅広く説明する内容となっております。万障お繰り合わせの上ご参加頂き、また広く告知して頂きますようお願い申し上げます。

記

日時：2012年4月21日（土）14：00～16：00（1回目）

2012年5月12日（土）14：00～16：00（2回目）

場所：山形大学理学部

（1回目、2回目とも同じ内容となります。詳細は付属のチラシをご覧ください。）

最後に、今年の日食は目の障害発生がゼロになることを目指し、太陽観察の危険性と安全な観察の方法の啓発普及に付きまして、関係者各位のご協力を重ねてお願い申し上げます。

以上

まもなく日食！直前講習会

今年を逃すと
次回は2030年！

まもなく日食！山形でも部分日食が観察できます！

日食の前に、「星のソムリエ®」が日食の観察のしかたを分かりやすく説明します！

講習会開催日程

第1回：2012年4月21日(土) (第1回、第2回
第2回：2012年5月12日(土) とも同じ内容に
14：00～16：00 なります。)

場所：山形大学理学部 (地図は裏面にあります。)

事前予約不要、会費無料、筆記用具をお持ちください。

安全な日食の観察方法について資料をお配りします。実際にピンホールを作って、お持ち帰り頂けます。

主催：特定非営利活動(NPO)法人 小さな天文学者の会

お問い合わせ先：小さな天文学者の会事務局(shoten_yamagataあつとyahoo.co.jp あつとは@で置き換えて下さい)

太陽の観察は危険が伴います！正しい知識を持って楽しく観察しましょう！

この講習会で正しい知識を身につけ、安全に日食を楽しみましょう！

食最大(山形市)

2012年5月21日
午前7時39分

最大食分 0.92

®「星のソムリエ」は国立大学法人山形大学の商標登録です。

まもなく日食！直前講習会

2012年5月21日の午前7時、日本の広い範囲で「金環日食」が観察されます。日食は月が太陽を隠してあたたかも太陽が欠けたように見える現象で、今年は完全に隠しきれずに太陽がリング状に見える「金環日食」となります。

東京や名古屋などではきれいなリング状になった太陽を観察できます。山形では惜しくもリング状になりませんが、それでも太陽のほとんどが欠けた状態で観察することができます。

これほど大きく欠ける日食は、次は2030年まで待たなければなりません。今回のチャンスを逃さずに見てみたい！

しかし、太陽の観察は大変危険で、やり方を間違えると失明など重大な障害を目に負ってしまうことになります。

太陽の観察は市販の日食グラスを用いるのが一番簡単ですが、日食グラスを買わなくても、小さな穴を開けた紙などを投影する方法や、手鏡を反射させて壁に映す方法など、もっと手軽な方法がいろいろあります。

そこで、「やまがた天文台」で日頃からボランティア活動を行っている私たち「星のソムリエ®」が、皆様に日食の基本から安全な太陽の観察方法までを分かりやすく丁寧に説明します！

事前予約や会費、予備知識などは一切不要です！この講習会に参加して、今年最大の天体ショーを正しい知識で安全に楽しみましょう！

日食スケジュール(山形)

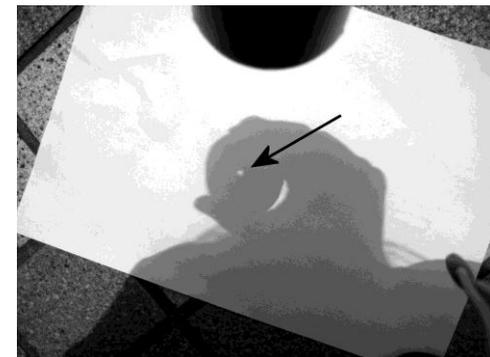
2012年5月21日(月) 6時23分食開始、7時39分食最大、9時8分食終了



←文字の形に小さい穴を開けたお菓子の筒の底に映る欠けた太陽。2009年日食にて。

講習会プログラム

- 日食のしくみ
- 山形での日食の見え方
- 日食グラスの使い方
- ピンホールを利用した観察方法
- 手鏡を利用した観察方法
- 太陽を観察するときの注意
- 実際に観察してみよう(好天時のみ)



※当日は施設内の案内に従ってお進み下さい。

※会場の駐車スペースは限られています。お車でのご来場は極力お控え下さい。